

おめでとうの春に

入園おめでとうございます。

進級おめでとうございます。

玄関前に並べたチューリップの葉が日に日に大きくなり伸びてきました。

松の実保育園第二の園庭へおとる寺尾中央公園では、桜の花芽が開花を待ちわびるようにほんのりとふくらんで見えます。

どちらか春を待つお子さんの成長にさっくり重なるように思えて、新年度への期待が膨らんでいきます。

初めて保育園という集団生活に入るお子には、不安や緊張の大きいに四月です。

一方、進級した子どもたちにも、お部屋や担任の先生が替わり、新しいお友だちを迎えて昨日とは異なる新しい環境が始まります。こちらにも緊張や興奮が高く、心身共に疲労が大きいと思っております。なればなりません。

子どもたちにはできるだけ早く、園の生活に親しみ、楽しんでもらうように、職員ひとりひとりが総ての子どもに、保育者という気持ちで、担任との密度濃く関わりが築けるようにしていきます。

そして子どもひとりひとりがどこに居てもあたたかい気持ちになり、よい気分できり、嬉しくても、お父さんお母さんがお顔をみる

そんな幸せ感を持つことも出来るように子どもひとりひとりの「あいうえお」を願って、家庭と保育園が車の両輪になつて子どもを育ちまじりかきと支えたいと思っております。

松の実保育園には「親子で楽しむ保育園」の他に「五つの保育目標」があります。保育目標を掲げる前に大切にしていくことがあります。それは、子どもはどの子もひとりひとり総ての人々に可愛がられ、

慈しみ育つこともうら権利を持つて生まれきたのだという、子どもの基本的な権利を尊重する保育です。

可愛がられることを素直に喜び、それを嬉しむと思ひ、幸せを実感できる毎日があるからこそ、子どもは人を信じ、人を愛するこころを呼び、やる気とがまんと思ひやりを發揮して、おののくと育つていくのだと確信しております。

子どもたちが生まれ育つ世界は美しく、人々の愛に溢れた温かい世の中であること、保護者必になつてほしいとついにしる知らせていきたい。

あくまでも子ども自身が育つ力を信じて。

四月です。

平成三十五年度が始まりました。

園長 福田孝子